

# 令和7年度 学校安全優良校審査資料

ふりがな 学校名	愛知県立吉良高等学校		
所在地	〒444-0514 西尾市吉良町白浜新田南切1番地4		
ふりがな 校長名	なかしま 仲島	みほこ 三保子	電話番号 0563-32-2231
メールアドレス	kira-ko@pref.aichi.lg.jp	ファックス番号	0563-32-3693

## 1 学校の概要（人数及び学級数は、令和7年5月1日現在）

教職員数	49人				
学級数	17学級				
幼児児童生徒数	442人				
管理下の 重大事故		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	死亡事故	0件	0件	0件	0件
	障害事故	0件	0件	0件	0件
過去の 表彰受賞歴	令和3年度 交通安全諸活動への感謝状 西尾警察署長				

## 2 学校安全に関する特色ある取組や研究実践

<p>・防災関係</p> <p style="text-align: right;">資料No.1</p> <p>海岸線から100mという本校の立地上、防災減災に対する計画や避難訓練への取組は他校よりも危機意識が高い。予測不能な災害に備え、現状に満足することなく管理職と防災担当者が連携をして見直しや改善を加えている。近年では文部科学省総合教育政策課から案内があった「学校安全実践力向上サポート事業」に応募し、名古屋大学減災連携研究センターの平山修久先生に、本校周辺の地形や本校避難訓練の様子を実際に見ていただいて御指導いただいた。また、その内容を近隣の白浜小学校、白浜保育園の先生とも共有した。（資料1）</p> <p>校外への地震津波避難訓練は春と秋の2回あるが、秋は近隣の白浜小学校、白浜保育園と連携して三校合同で1次避難場所である正法寺山古墳に避難する。昨年度の担当者会議にて協議した結果、今年度はより一層、現実的な防災計画を策定するため、初めて三校の全園児児童生徒で避難し、経路の重なりや園児の支援などを確認する予定である。</p> <p>・防犯訓練</p> <p>不審者侵入時の緊急放送内容を「用務員の白浜さん！白浜さん！〇〇までお願いします（〇〇は不審者の居場所）。」と定めて全校生徒に周知しており、生徒の安全確保や誘導に備えている。また、防犯訓練時は教員が不審者役となり、敷地外まで追い出す訓練を実施している。</p>
---

### 3 学校安全に関する取組

<p>(1) 安全教育について</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・防災講話 日本放送協会が募集した「NHKアナウンサーと考える防災授業“ことばで命を守る”」に応募し、ニュース7などに出演されている糸井羊司アナウンサーから御講演をいただいた。東日本大震災でのご自身のエピソードを交えて話していただき、自助・共助の大切さを伝えていただいた。</li><li>・2次避難場所への経路確認 有志の生徒や教員に参加を募り、1次避難場所である正法寺山古墳から2次避難場所である吉良観光ホテル駐車場までの山越えルートを、実際に歩いて確認する機会を作っている。経路は斜面が多く、岩や樹木の根も剥き出しで、巨大地震後の避難はかなり困難であるが、参加した有志が率先して他生徒や地域住民を避難させてくれることを期待している。</li><li>・交通安全指導 交通安全講話の他にPTAとの合同登校指導を年3回、校外下校指導を年3回行っている。特に下校指導では、校外7カ所で自転車の並進禁止や交差点での一旦停止などを呼びかけたり、バス乗降者時の交通マナーを指導したりしている。(資料2)</li></ul>	資料No.2
<p>(2) 安全管理について</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・防犯対策 令和6年度の夜間に自動販売機荒らしや昇降口扉窓の器物破損、女子トイレからの不法侵入など、外部からの侵入が相次いだことから、職員へ不審者侵入時対応マニュアルの確認周知と人感センサー付き照明を4カ所に設置して対策を行った。</li><li>・ヒヤリハットへの対応 保健体育科、家庭科、理科には特に他校のヒヤリハットの事例を共有し、危機意識を高めている。事案が起こった際は、該当教科会で原因究明と改善点を協議して管理職に報告するようにしている。また、部活動の顧問には、会議時における練習メニューの工夫をお願いしている。</li><li>・交通事故防止 本校北側の信号のない交差点は、近隣の中では比較的交通量も多い。梅雨頃になると交差点横の空き地の草が生い茂って見通しが悪くなり、交通事故が多発する危険箇所である。そこで毎年、町内会とPTAに協力を仰ぎ、交差点周辺の草刈り作業をお願いしている。</li></ul>	資料No.
<p>(3) 家庭・地域等との連携について</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・体験型防災探究 第1学年では総合的な探究の時間の枠組みの1つに防災探究がある。今年度は西尾市消防団の協力のもと、応急救護体験、避難所テント設営体験、ロープワーク体験等の体験型学習を実施した。また、西尾市危機管理課から講師を招いて、地域共助の一員としての心構えを伝えていただいた。</li><li>・保護者引き渡し場所の変更 2次避難場所である吉良観光ホテル駐車場までの車道は、土砂災害警戒区域が多いことや地震後は線路の遮断機が降りていて保護者の自家用車が入れない可能性が高いこと、また、避難場所である吉良観光ホテルが廃業して多くの生徒を数日間受け入れるだけの見込みが</li></ul>	資料No.3, 4

ないことが危惧された。そこで西尾市に相談した結果、線路を越えた「吉良カントリークラブ」に受け入れてもらうことになった。2次避難場所から引き渡し場所への経路は、西尾市津波ハザードマップ（資料3）や土砂災害警戒区域を勘案して設定した。（資料4）

**(4) その他特筆すべき内容**

資料No.5

・防災リュックの運用

本校では各ホームルーム教室に異なる非常用防災物品を入れたリュックを置き、防災委員がそのリュックを持って避難するようにしている。（資料5）そのリュックが避難場所に集まったときに、全校生徒分の非常用防災物品が揃う計画である。